

講義科目 : 居住環境基礎 (70期生)	単位数 : 2
担当 : 居住環境コース専任教員	学習形態 : 選択科目
	* 第1学年で履修

### 講義の内容・方法および到達目標

本講義の到達目標は、専任教員各自の専門分野のダイジェストについて全コース生が受講することで、学生各自が、二年次でのゼミの選択さらには将来の進路について、十分に考慮する機会を得ることにある。なお、本年度後期は都市計画担当教員が在外研修のため、建築計画・環境問題・情報科学担当教員が3人で講義を担当する。

### 授業計画

- ① コース生を均等に班分けする (21年度は3班の予定)
- ② 専任教員がローテーション形式で、各班に対して講義を行う。  
(21年度は3つの班に対して、4回ずつの講義がなされる予定)
- ③ スケジュール
  - 第1回 全体会合…講義の目的・内容等についての説明、注意事項の伝達
  - 第2回～第9回、第11回～第14回…上述形式による講義
  - 第10回…学生面接日 (各班に対し教員それぞれが対応)
  - 第15回 最終全体会合…教員による講評および学生による総括レポート執筆
- ④ 具体的な講義内容 (順番が班ごとに異なるので以下の形式で叙述する)
  - 建築計画担当教員
    1. 空間デザインに関する課題の出題
    2. 事例収集・整理
    3. 事例分析 (グループワークなど)
    4. 発表と総括
  - 情報科学担当教員
    1. Scratchによるプログラミングの概要
    2. Scratchで自作の作品の制作
    3. Scratchでグループ作品の制作
    4. グループ作品の発表
  - 環境問題担当教員 (映像視聴と討論の形式で行う。以下は映像のテーマ)
    1. ハイテクの源としての生物模倣
    2. 戦争と環境破壊——毒ガス海洋投棄
    3. ペットとしての外来生物
    4. 日本原発政策史

教材・テキスト・参考文献等…講義中適宜指示する。

### 成績評価方法

毎回提出物…70% 総括レポート…30%

その他… 第一学年にて履修する。

実務経験…建築計画担当教員については、設計事務所に勤務した経験を活かし、実践的な計画・設計手法についても講義する。